

宮城県大崎保健所栗原支所

感染症発生動向調査情報

(令和7年10月3日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。＊は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾 病		疫学週			
		36 週	37 週	38 週	39 週
		9月1日 ～ 9月7日	9月8日 ～ 9月14日	9月15日 ～ 9月21日	9月22日 ～ 9月28日
急性呼吸器感染症(ARI) ＊ インフルエンザ ＊ 新型コロナウイルス感染症 ＊	急性呼吸器感染症(ARI)	572 114.40	668 133.60	504 100.80	581 116.20
	インフルエンザ ＊		1 0.20		
	新型コロナウイルス感染症 ＊	71 14.20	98 19.60	53 10.60	59 11.80
小児科 定点	RSウイルス感染症 ＊	1 0.33	4 1.33	2 0.67	4 1.33
	咽頭結膜熱 ＊			1 0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ＊	8 2.67	8 2.67	6 2.00	5 1.67
	感染性胃腸炎	7 2.33	1 0.33	4 1.33	5 1.67
	水痘	7 2.33	11 3.67	4 1.33	10 3.33
	手足口病	2 0.67		2 0.67	1 0.33
	伝染性紅斑	28 9.33	12 4.00	5 1.67	4 1.33
	突発性発しん	1 0.33		1 0.33	1 0.33
	ヘルパンギーナ ＊	20 6.67	19 6.33	9 3.00	5 1.67
	流行性耳下腺炎		1 0.33		1 0.33
眼科 定点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹 定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎	3 3.00	2 2.00	2 2.00	
	無菌性髄膜炎				
拡張 疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)	3	5	10	7
	川崎病	1	1		1
	不明発疹症			3	

大崎保健所管内定点数：内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	—	○
備考	感染性胃腸炎		新型コロナウイルス感染症

3. 栗原支所より ◎：複数対応中、○：対応施設あり、—：対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

- 5類：百日咳 男1名
- 県内の百日咳の患者報告数が多い状況が続いています。

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 大崎保健所管内の新型コロナウイルス感染症の患者報告数は横ばい、水痘の患者報告数は高い水準になっています。
- 引き続き、基本的な感染対策を徹底してください。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- 新たな集団発生はありません。

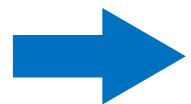
【お知らせ】

- 冬季は感染症が多く発生する時期です。医療機関や社会福祉施設等におきましては、下記基準を満たす場合は集団発生の届出をお願いします。保健所職員が早期終息に向けてお手伝いいたします。
 - ①同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる死亡者又は重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合。
 - ②同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合。
 - ③①及び②に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合。
- 報告は電子申請にて、右記QRコードから可能です。



【医療機関の皆様へ】

- 感染症法に基づく、医師の届出に必要なアカウントの発行及びシステムのログインはこちら



アカウント発行 システムログイン



【感染症コラム～流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)～】

- ムンプスウイルスの感染により2～3週間の潜伏期を経て、発症します。
- 片側または両側の耳下腺・唾液腺が腫脹し、圧痛や嚥下痛、発熱を伴います。通常1～2 週間で軽快し、約2万分の1で難聴を合併すると言われています。感染しても症状が現れない不顕性感染が約30％あります。
- 治療は症状に応じた治療が行われます。
- 予防にはワクチンが有効です。1歳以上で接種可能です。
- 感染経路は飛沫・接触感染で感染力がかなり強いです。
- 学校保健安全法において「耳下腺、顎下腺又は舌下線の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで出席停止」とされています。
- 妊婦が感染すると流産や胎児の低出生体重といった影響を及ぼす可能性があるため注意しましょう。